

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～
再生可能エネルギー「バイオマス発電」

①表題



②ねらい

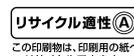
- ・バイオマスについて知る。
- ・バイオマス発電は、地球環境に優しい再生可能エネルギーによる発電の一つであることを理解する。
- ・木質バイオマス発電は、二酸化炭素の排出が実質ゼロといわれていることを知る。
- ・東京都にあるバイオマス発電施設について知る。

③本教材で扱う 主な内容

バイオマス、再生可能エネルギーの一つであるバイオマス発電と温室効果ガスの関係、東京都のバイオマス発電の取組、自分たちにできる温室効果ガス削減の取組

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○揭示用教材①を見て、バイオマスやバイオマス発電について知る。	○バイオマスは再生可能エネルギーの一つであることを説明する。	◆揭示用教材①
○生活の中でバイオマスとして利用できるものはないか、考える。		◆ワークシート①
○揭示用教材②を見て、バイオマスは地球に優しいエネルギーであることを知る。	○イラストを拡大して提示し、説明する。	◆揭示用教材②
○揭示用教材③を見て、東京都にあるバイオマス発電施設を知る。	○東京都にあるバイオマス発電施設について説明する。	◆揭示用教材③
○日本のバイオマス発電の施設について調べる。		◆ワークシート②
○揭示用教材④を見て、バイオマス発電のよい点について考え、発表する。	○発表後、バイオマス発電のよい点を生かすために、わたしたちにできることは何かを考えるよう、声掛けをする（ごみの分別等が考えられる）。	◆揭示用教材④ ◆ワークシート③



令和6年度 第7号 小学校中学年版

みらい ちきゅう 未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ^{じっせん} ~カーボンハーフ~

さい生かのうエネルギー「バイオマス^{はつ}発電」

年 組 名前

①わたしたちの生活の中で、バイオマスとして利用^りできるものはないか、考えましょう。



②日本にあるバイオマス^{はつ}発電^{しら}せつについて調べましょう。



③バイオマス^{はつ}発電のよいところはどんなところか考えましょう。

